

“踊る阿呆に見る阿呆同じ阿呆なら踊らにゃ損々”本場徳島の阿波おどりを体験したい方は、にわか連に参加しましょう。初心者でも大丈夫！有名連によるレッスンとリハーサルの後演舞場へ繰り出します。自由な服装で気軽に参加OK！事前の申込みや料金も不要。

■ 集合時間 18:30 / 20:30 ■ 集合場所 ◎あわぎんふれあい広場 ◎元町演舞場西側
(阿波おどり期間中毎日2回実施) (徳島市役所市民広場)

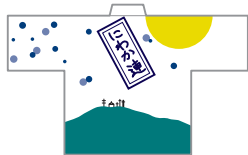
◎オリジナルデザインのハッピー貸出中！

■ ハッピー貸出・返却場所 / あわぎんふれあい広場(徳島市役所市民広場)、元町演舞場西側
阿波おどり総合案内所

※貸出時に預かり金3,000円必要です。
返却時にクリーニング代500円を除いた2,500円をお返しします。

■ 貸出及び返却時間 / 18時から22時まで(毎日先着250名)

※時間内に返却できない場合は、8月17日16時までに
阿波おどり実行委員会本部(徳島市役所3階観光課)へお持ちください。



阿波おどりの基本

決まった振り付けもなく、すぐに踊れそうですが、なかなか奥深いのが阿波おどり。基本の踊り方をご紹介します。

★かっこよく踊るコツ★

- 男踊りは、しっかりと腰を落とすこと。
- 女踊りはとにかく手を高く上げること。
- 何より一番大切なのは、リズムに乗って笑顔で踊ること。



男踊り

こぶしひとつ分足を開いてがに股に立ち、腰を落とし前傾姿勢になる。両手は手のひらが向き合うように上げる。左足に重心をかけた状態から右のつま先を前に出すと同時に、右手も自然と前に出す。左も同様。この動作を2拍子のリズムに合わせて繰り返す。



女踊り

つま先立ちの状態膝を軽く曲げ、前傾姿勢になる。両手を手のひらが向き合うように肩幅に上げる。左足に重心をかけ、右足を後ろに蹴り上げて左足のつま先の前に出す。このとき同時に右手も前に出す。左足も同様に、この動作をリズムに合わせて繰り返す。

阿波おどりの豆知識 Knowledge of Awaodori

知れば知るほど、なお楽しい！

今や世界にもその名を知られる阿波おどり。その起源についてはいろいろな説があり、「築城起源説」「盆おどり起源説」「風流おどり起源説」が有力とされていますが、いちだんと盛んになったのは、蜂須賀家政が天正14年(1586年)に徳島入りをし、藍、塩、などで富を蓄積したところからだといわれています。特に、戦後の阿波おどりの復興ぶりは目ざましく、今では日本を代表する伝統芸能の地位を確立しました。

阿波おどり用語いろいろ 阿波踊りに関する基本的な言葉をご紹介します。



高張り提灯

長い竹竿の先に連名の入った提灯を二つ付け、連の先頭を行きます。進むスピードを調整する役目もあります。

ぞめき

阿波おどり特有の二拍子の軽快で陽気なリズム。「騒がしい」との本来の意味もあり、派手に浮かれて賑やかに踊ることを指します。

正調

「正しく受け継がれてきた(唄い方などの)調子」ということで、対義語は変調となります。本来、音階の正しさを指しますが、阿波おどり界では正統派、本格派といった広い意味で使われることが多いです。

流し

朝から昼にかけ、三味線などの鳴り物だけで街を流し歩くこと。踊り抜きの音色だけで芸を披露して回ります。

鳴り物

「阿波おどり」独特のお囃子を奏でる楽器を総じて「鳴り物」と呼びます。鉦、鼓、締太鼓、大太鼓、横笛、三味線の組み合わせを基本とし、阿波おどりの軽快な二拍子のリズムと情感あふれる音色(ぞめき)を紡いでいきます。その演奏は伝統的な旋律を守りながらも連の踊りのスタイルに合わせて絶妙にアレンジさせ、その個性を競い合います。

連・有名連

阿波おどりを踊る団体のことを連と呼びます。その中でも有名連とは、「阿波おどり振興協会」「徳島県阿波踊り協会」に所属する連などのことで、その踊りは見応え十分。阿波おどり期間の他、全国各地(海外)で踊りを披露しています。

